

滋老協発第 14号  
令和 5年 8月23日

一般社団法人 滋賀県老人福祉施設協議会  
会長 堤 洋三

令和5年度 介護職員の看取り介護技術向上研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、この度「介護職員の看取り介護技術向上研修会」を企画いたしました。別紙開催要項により開催いたしますのでご案内申し上げます。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが、**研修日1週間前までに別紙参加申込用紙にてお申し込み**くださいますようお願いいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 令和5年10月13日(金) 13:30~16:30  
会場 ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)207号室
2. 研修内容 「看取りのプロセスを支えるチームケア」～看取りの見える化シートの活用～  
講師 滋賀医科大学医学部附属病院 准教授  
看護臨床教育センター長 多川晴美氏  
講師 佛教大学 保健医療技術学部 看護学科 准教授  
在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師 清水奈穂美氏
3. 参加対象 介護サービス事業所、医療機関の介護職・看護職・ソーシャルワーカー等、  
**看取りケアに関わる職種であればどなたでも参加可能**
4. 定員 50名(先着順)
5. 参加費 無料
6. 参加申込 各会場 1週間前正午までに所定の申込書にてお申込ください。

◆滋賀県老人福祉施設協議会 事務局

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 吉岡・木平(きのひら)

電話:077-585-9380 FAX:077-585-9381

Eメール:[shiroukyo@shiga-roushikyo.jp](mailto:shiroukyo@shiga-roushikyo.jp)

◆研修担当

特別養護老人ホームあやめの里 (担当 松尾道子)

FAX:077-589-6241 メールアドレス ayamem788@gmail.com

滋賀県老人福祉施設協議会

# 《10/13》介護職員の看取り介護技術向上研修

ピアザ淡海 滋賀県民交流センター 207号室

## 参加申込書

FAX 077-585-9381

Email [shiroukyo@shiga-roushikyo.jp](mailto:shiroukyo@shiga-roushikyo.jp)

申込期限 令和5年10月5日(木)正午までをお願いします

申込日	年 月 日
法人・事業所名	
担当者名	
電話番号	

参加者氏名	職種



## 2023(令和5)年度 介護職員の看取り介護技術向上研修 開催要項

### 1. 目的

介護や医療ニーズが急速に高まる85歳以上の人口は、当県でも2040年ごろまで急速に増加し、住み慣れた自宅等で療養を継続する在宅療養、そして本人らしい最期を迎えるための多職種連携、特に医療と介護が一体となって本人や家族を支える看取りケアの質向上に関して、県民の期待は益々高まっています。令和3年度、この事業において「看取りの見える化シート」を作成し、本人の具体的な思いを基軸とした多職種連携の具体的なイメージが可視化できるようになり、昨年度より具体的実践として、本研修の基礎研修と訪問事業において活用化の促進を行ってきております。

今年度におきましては年1回となりますが、ぜひとも多くの方にご参加いただき県民の方の多職種連携のもと看取りケアにかかわっておられる実践の一助になれば幸いです。

主催 滋賀県、一般社団法人 滋賀県老人福祉施設協議会

2. 日時 令和5年10月13日(金) 13:30~16:30

3. 会場 ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）207号室

### 4. 研修内容

【講義1】「看取りの見える化シートの意義と活用方法」

講師 滋賀医科大学医学部附属病院 准教授 看護臨床教育センター長 多川晴美氏

【講義2】「看取りのプロセスを支えるチームケア」 ～看取りの見える化シートの活用～

講師 佛教大学 保健医療技術学部 看護学科 准教授

在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師 清水奈穂美氏

5. 参加対象者 介護サービス事業所、医療機関の介護職・看護職・ソーシャルワーカー等看取りケアに携わる職種ならどなたでも

また在宅看取りを考える行政の方々もぜひともご参加ください。

6. 定員 50名(先着順)

7. 参加費用 無料

8. 参加申込 開催日1週間前 正午までに所定の申込書にてお申込ください。

滋賀県老人福祉施設協議会 事務局 【吉岡・木平(きのひら)】

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目 8-138

電話:077-585-9380 FAX:077-585-9381

Mail:[shiroukyo@shiga-roushikyo.jp](mailto:shiroukyo@shiga-roushikyo.jp)

# 看取りのプロセスを支えるチームケア

～看取りの見える化シートの活用～

	在宅から特養	これまでの暮らし	入所前から安定期	急性増悪期	看取りケア	数日から数週間	お別れ直前	看取り後
病状・生活の変化	水を飲めなくなり、一人暮らしをしていたが、認知機能の低下などため、次第に身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	入所時は自宅で寝ていたが、認知機能の低下が著しく、トイレや食事の世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	入所4年が過ぎた頃、医師より痴呆を指摘。食事や身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	しばしば状態は悪化していた。認知2ヶ月が経った頃、痴呆が著しく、身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	水分も飲み込めず、反応がほぼなくなる。	家族の対応 高くなる体位を工夫する。多量にやみ食いされる。看取りの声をかける。家族で看取りをする。		
身体の変化	高齢に伴って歩行能力が低下し、歩行補助具が必要になる。認知機能の低下により、身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	認知機能が低下し、身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	認知機能が低下し、身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	認知機能が低下し、身の回りの世話をまわすことが難しくなってきた。加齢生活が徐々に困難になる。	水分も飲み込めず、反応がほぼなくなる。	家族の対応 高くなる体位を工夫する。多量にやみ食いされる。看取りの声をかける。家族で看取りをする。		
本人の意向	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。	できる限り在宅で暮らしたい。
家族の意向	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。	看取りを希望しない。一人暮らしは心配。
看取りの視点	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。	本人が希望するまでサポートする。
チームの支援	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。
POINT	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。	本人、家族の意向を確認し、必要に応じてケアを提供する。
意思決定支援：重要だった場面	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。
意思決定支援：重要だった場面	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。
意思決定支援：重要だった場面	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。	本人の人生観や価値観、そのよきよきを尊重し、本人の意向を尊重する。



**多川晴美先生**  
滋賀医科大学附属病院  
看護臨床教育センター長  
准教授



**清水奈穂美先生**  
佛敎大学保健医療技術学部  
看護学科准教授  
在宅看護専門看護師  
訪問看護認定看護師



**2023年10月13日 (金曜日) 13:30~16:30**  
**会場 ピアザ淡海 (滋賀県立県民交流センター) 207号室**

看取り介護推進事業において、「看取りの見える化シート」を作成しました。ご本人の具体的な思いを基軸とした多職種連携の具体的なイメージを可視化していくことで共通の思いで関わるができるようになります。ひとの人生は多様性に富み、個性の高いものです。このコロナ禍においては急激に看取り期を迎えることあったかと思えます。だからこそ関係者が一人ひとりに寄り添い、役割分担し、チーム一丸となってケアを行うには、繰り返しカンファレンスを開催することが重要性です。多職種協働における基本的な視点を学びます。

**参加対象者：介護サービス事業所 (入所系の施設も在宅サービスも可) デイサービスのかたも訪問看護ステーションの方も小規模多機能や看護多機能の方もいろんな事業所の方ご参加ください。**  
**医療機関における看取りケアの実施されている方 行政に携わる在宅看取りをバックアップして下さっている方も多くの方にご参加いただきたいです。**  
**滋賀県老人福祉施設協議会**

看取りの見える化シートがチーム連携とご本人を中心としたチームの共通の目標に向かう方法を導いてくれます。